

教科	地理・歴史	科目	世界史A	単位数	2
学年	1年	教科書	明解 世界史A (帝国書院)		
学科	全学科	副教材	使用なし		
学習目標	①近現代史を中心とする世界の歴史が、どのように展開されてきたかを学習します。 ②人類が直面する課題を、政治、経済、文化、生活など様々な観点から理解、考察してゆきます。				
学期	単元		学習内容・学習のねらい		
1	1	世界史へのいざない	<ul style="list-style-type: none"> ・人類が文明を築き、各地域世界が形づくられていく過程を学習します。 		
	2	世界の一体化と日本 (1) ユーラシアの諸文明 (2) 結びつく世界と近世の日本 (3) ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア、西アジア、ヨーロッパ、アメリカなど各地域の諸文明の特徴を学習します。 ・16世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパのわく組みとなった主権国家体制の形成について学習します。 		
	2	(4) アジア諸国の変貌と近代の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会および国民国家の形成が進んでいく過程を学習します。 		
2	3	地球社会と日本 (1) 帝国主義の時代 (2) 世界戦争と平和	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る20世紀前半の国際社会の大きな流れを学習します。 ・戦後の国際情勢の大きな流れを理解し、現代の諸問題と関連づけて考察を深めます。 		
	3	(3) 三つの世界と日本の動向 (4) 地球社会への歩みと課題			
課題	①夏休み課題 世界史に関する人物や事物を取り上げ、興味・関心を高めます。 ②冬休み課題 世界史に関する人物や事物を取り上げ、興味・関心を高めます。				
評価の観点		内 容			
I 関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に意欲的に取り組んでいる。 ・世界の歴史に関心をもち、意欲的に探求しようとする姿勢がある。 			
II 思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> ・課題意識をもって、歴史的事象や人類の課題を意欲的に思考・判断し、追求しようとしている。 			
III 資料活用の技能		<ul style="list-style-type: none"> ・世界史で活用するさまざまな資料から、歴史的背景や文化的特徴などを読み取ることができる。 			
IV 知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史について大きな流れを理解している。 ・世界の諸地域の歴史的特色を理解している。 			
評価方法	四つの評価の観点の達成度を、「定期考査・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価する。(100点法)				